



兵庫支部NEWS H16 4月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> Eメール nagoshihideaki@yahoo.co.jp

購読料 12回1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座 00980-2-245822

口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

平成16年度兵庫支部総会・懇親会

6月20日(日) 午前11時～午後2時

インド料理レストラン「シャンティ」特設会場(JR芦屋駅ビル「モンテメール」5階)

会費: 男性: 7,000円、女性: 5,000円

平成15年・16年卒業生無料招待・同窓会会費新規完納者半額招待



総会: 午前11時～正午 懇親会: 正午～午後2時

懇親会アトラクション: 北インド民族楽器「シタール」演奏家石濱匡雄氏出演予定

石濱匡雄(イシハマタダオ) 1979年大阪生まれ。弱冠15歳で北インド民族楽器を習い初め、97年初渡印。シタール二大流派のひとつマイハール流派の巨匠バンディット・モノジ・シャンカール氏に師事。現在インドと日本の両国でコンサート活動を続け、その繊細さと激さの両面をあわせ持った演奏スタイルは人々の心を惹きつけている。

兵庫県下に在住する同窓生約760名を会員とする兵庫支部の総会・懇親会を毎年開催しています。共に肩を組み校歌・道遥歌を唄い、老若男女を問わず、同窓生という誼で、楽しいひとときを過ごしましょう。ご参加お待ちしております。

兵庫支部月例会3月「三金会」報告

平成16年3月19日(金)月例会会場フリージアにて、囲碁の会の熱戦のため、少し遅れて開催された出席者: 大村実良(33商) 高尾巖(36商) 山本信司(37米英) 平間正昭(37商) 名越英昭(37米英) 二宮慶治郎(38米英) 銭谷勘一郎(39米英) 安徳信義(44商) 8名

1. 支部総会開催の件

- * 北友会会報6月号は例年6月20日頃発送のため開催日に間に合わないと思われるが、兵庫支部会員あてに特別早く発送を依頼し、総会開催公告の掲載を依頼することとする。
- * 案内状発送を4月下旬ごろとし、文書は例年通りとする。案文を4月三金会に報告。

2. 会費納入促進活動

- * 会費分納中の人への残高連絡文書を2月に発送しその後の納入状況は目下のところ〇人
- * 未納会員に対しても同様の文書を送り、会費納入を依頼することとなる。

3. その他

- * 2月三金会終了直後、真島秀幸氏(48経営) 来訪あり居残っていた銭谷氏と会い話が弾んだ由。同氏は支部HPを見て以前にも訪れたことあり。
- * 3月三金会開催数日前、金山千治氏(24米英) がご夫婦で来訪されたと「フリージア」ママから報告があった。

メール会からのお願い

メール会ではOFF会開催を計画中で、パソコンに興味のある方、初心者・熟練者を問わずご参加されます事を希望しています。開催にあたり、皆様のご意見をお聞き致したく、下記アンケートにお答え下さい。

A. 下記の開催日時を選択してください。

1. 4月24日(土) 午後1時から
2. 4月25日(日) 午後1時から
3. 5月15日(土) 午後1時から
4. 5月16日(日) 午後1時から
5. その他(月 日)

B. 参加希望有無についてお知らせ下さい。

1. 上記日程であればどの日でも出席します
2. 選択した日時なら出席します
3. 実施内容により出席します
4. その他の日時であれば出席します
5. その他(理由)

C. 実施内容について

ご要望があればお知らせ下さい。

回答方法

電話: 078-743-6010 FAX 078-743-6157

Eメール: konoakio@hi-net.zaq.ne.jp

HP掲示板:

<http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono/hyougo.htm>

兵庫支部「メール会」代表 河野旺生(36商)

損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地



大村保険サービス

代表 大村 実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8318



《自然木 高級檜造りの家》

曾改築・新築・不動産全般

⑤ 株式会社 瀬戸内ホーム

代表 永 翁 正臣
(昭和41年 商学部卒)

〒671-1103

姫路市広畑区西夢前台6丁目2番地

Tel. 0792-36-0833

Fax. 0792-36-0905

平成16年度北九州市立大学入学者1,599人

北九州市立大学の入学式は4月7日(水)に行われ、学部入学者1,491名、大学院入学者108名、合計1,599名が入学。詳細は下記の通り。

学部名	コース	男	女	合計
外国語学部	昼間主コース	46	163	209
	夜間主コース	9	43	52
	小計	55	206	261
経済学部	昼間主コース	194	144	338
	夜間主コース	23	9	32
	小計	217	153	370
文学部	昼間主コース	34	209	243
	夜間主コース	9	29	38
	小計	43	238	281
法学部	昼間主コース	134	116	250
	夜間主コース	35	24	59
	小計	169	140	309
	昼間主コース	408	632	1,040
	夜間主コース	76	105	181
	小計	484	737	1,221
国際環境工学部		201	69	270
学部計		685	806	1,491
大学院		51	57	108
総合計		736	863	1,599

平成15年度北九州市立大学卒業生は1,254名

平成15年度の北九州市立大学の学位授与式は3月20日(土)に行われ、1,254人が卒業した。

国際環境工学部を除く学部の卒業生は男534人、女666人、合計1,200人で、国際環境工学部では早期卒業制度(4年未満の在学で学部を卒業)を適用された3名が3年間の在学で卒業した。

また、大学院修了者は、男34人、女36人、合計70人であった。

学位授与式終了後、後援会・同窓会主催による卒業生激励会が開催された。



激励会に出席の吉崎学長、田中名誉教授、土谷後援会会長、及び同窓会江口会長、斎藤・淵田副会長、藤井顧問



激励会を祝う鏡割り

とんだ事件に!! (続き)

インド便り — 第9回 —

高森千賀子(44米英)

警察は私のYへの告発を受けて、やっと重い腰をあげた。今まで一方的に私の身辺調査をしていた派出所のオフィサーPは、初めて彼女のパスポートをチェックした。私の予想通り、Yは純粋な韓国人だった。

私の知り合いのジャーナリストAはオフィサーPと懇意だ。それでP、Aと私の3人で、車で1時間かかる隣町の警察署長SPというオフィサーに面会に行きYを再び告発した。彼はカジュラホ署長SDに指示を与えたので、今度はSDオフィサーに面会に行った。私は彼に、デリーの韓国大使館と接触して、Yを強制帰国させるよう懇願した。

その後、SDの元に大使館よりFAXが届いたものの、何の進展もない。Yの精神状態は悪化するばかりで、住民は彼女を“気狂い”と呼び、不気味がっていた。真夜中、2時に私の家に来て「あなたのことが心配だ。大丈夫か」と聞いた。その台詞はそっくりそのまま彼女に返したかった。「どうして馬鹿なことばかりするの?」と聞くと、「誰かがそうするよう仕向けている」と意味不明なことを呟いた。

Yはカメラ、衣類など所持品をすべて捨て、お金も人にあげて無一文になり、ホテルから追い出された。走行中の車やバイクの前に、いきなり立ちはだかったり、夜中に徘徊したりで、自殺の恐れもあり危険になってきた。そのため婦警が彼女に付き添うようになり警察宿舎で寝泊りしていた。

私はオフィサーPやジャーナリストAたちと毎晩のように、今後の対策を協議した。Aは地方紙にYの記事を書き、掲載した。Yをこれ以上放っておかず、私は自分で彼女を大使館に連行することを決心した。

Aには大使館に直接接触してもらい、私はSPオフィサーにFAXを送信し、「私がYを大使館に連行するので、オフィサーPと婦警を私につけてくれ」と。

SPからSDオフィサーを通じて、夜9時に許可があり、即支度をしてデリーに向った。カジュラホには鉄道がないので、最寄りの駅まで車をチャーターして4時間、そこから夜行列車で7時間で翌朝デリーに到着した。

ひとまずホテルに入り、朝食、休憩後、韓国大使館へ行った。既に連絡はしていたので、我々は許可証を首からぶら下げて入館し、女性領事に会った。彼女はすでにYのソウルへの飛行機のチケットを手配して、送還の準備を整えていた。Yを領事に引き渡して、一件落着だ。

これでカジュラホに以前の静けさが再び戻った。彼女がホテルのガラスを割るという事件を起こしてから実に20日間も経っていた。帰宅した私は肩の重荷が取れ、翌日にはとっと疲れが出て、一日中グッタリだった。

(次号に続く)

原稿大募集

随筆、旅行記、自分史、短歌、俳句、詩、川柳、写真、本紙にたいするご意見、ご感想、何でもOK。皆様のご投稿をお待ちしています。

広告大歓迎

掲載料: 1/10ページ 1回500円

お申し込みは6回分3,000円でお願ひします。

あなたは大丈夫？

歩こう会顧問（初代会長）藤田博保（35商）

春といえどもまだ三寒四温の気候。しかし、今年は早く花見が来そうです。これから汗ばむ陽気になると外に出て歩いてみたくなるものです。

春はスポーツシーズン到来でもあり、それとともに気になるのが我が身の健康状態。どなたも健康管理の必要性について頭の中で判っている、仕事の疲れやストレスから休日こそ安息日だとばかり、家の中でゴロゴロしている人をよく耳にします。

体力のある若い年代なら多少の無理も乗り越えられても、現役を退く頃になると張り詰めた気力も段々と薄れ、加齢とともに体力低下が気になり、それが現実的なものになって来ます。

疲れ易くなったからとドリンク物やお手軽なサプリメントを利用するのは、一時的なものであって、基礎体力をつける事とは本質的に違っていると云えます。

体力増強には時間が必要です。つまり「貯筋」の積み上げです。足の筋肉が増える事はダイエットにも大変効果的とも言われています。

現代は乗り物なくしては生活が出来なくなっていますが、それだけに意識して自分の足で歩く事を忘れてしまっているのではないのでしょうか。

最近TV番組でデューク更家さんによる「歩き方教室」が一寸したブームのようになっています。これは女性ならエレガントに、男性ならスマートに歩く方法を教えていますが、改めて歩く事に関心を集め、新鮮さを感じさせている事も事実です。

近頃どこでも年配者がウォーキングをやっている姿をよく見かけますが、歩く姿勢をみて心配になる事があります。その殆んどの人が「ベタ足」で歩いている事です。それを続けていると2～3年位で膝を痛めてやむなく止めたという人を多く見聞きしています。

以前何事にも基本があると書きましたが、年取って健康の為とばかり基本など考えず毎日バタバタ歩くのは逆効果しかありません。

一般に道を歩く場合（ウォーキングで）舗装された道路を歩く事が多いかと思われそうですが、必ず実行していただきたいのは「カカト着地」です。それはカカトをクッションにして歩き膝への負担を軽くする方法です。これは意識的にやらないと身につきません。山歩きは「ベタ足」ウォーキングは「カカト着地」が基本的な歩き方となります。

あなたはどうか？さあ歩いてみてくださいと云っても急に一人だけではアホらしい気になって、仲々実行できないものです。もし少しでも関心をお持ちなら一度我が支部「歩こう会」に参加されてみることをお勧めします。

三年程前、「歩こう会」発足時、ハイキングに行きその時よく転んでいた現会長二宮氏、なんと昨年11月の六甲山全山縦走（56km）を完歩されました。

本人の努力もさることながら、歩く事にすっかり自信をつけたから出来たのでしょう。まさに「千里の道も一歩から」です。

仕事、買い物、また時間節約のためには「車」も必要ですが、自分の健康のためにはもっと「足」を使ってみたらいかがでしょうか。



名倉勝征氏(41米英) 初優勝

一第21回三金ゴルフ

“三金ゴルフ春のコンペ”は、甲子園球児が活躍する2日目の3月24日（水）に開催。春先にありがちな曇天ながらも、傘をさす事もなく終日プレイが出来たのは、参加者13名全員の日頃の行いの良さが為せるわざと感じ入った次第。参加メンバーの年齢格差が40歳というのに違和感がないのは、真にゴルフの醍醐味。

和気藹々の内に4組でスタート。スコアは平均ストローク105で玉石混交・種々雑多ながらベスグロは87（城戸さん・葉室さん）優勝は不肖名倉。

いつも変わらぬ安徳幹事の数々のアトラクションに悲喜こもごも。

西に電卓で自己申告スコアに熱心な人がいれば、東で当たり馬券にフロントを往復確認する人、南であきらめてゆっくりお茶している人がいれば、北ではドラコンのホールが違っていたと訴える人と僅かな時間空間の中に様々な人間模様が顔を覗かせるという実に楽しい一日でした。

文末ながら、前原さんと城戸さんにご芳志と景品をご提供いただきました事をご報告すると共に厚く御礼を申し上げます。

次回は、秋に予定で新しいメンバーさん大歓迎！！腕を磨いて再会を期待しつつ。（名倉勝征S41報告）

第21回三金ゴルフ成績表

参加者	卒年	グロス	ハンディ	ネット	順位
名倉勝征	S41	100	21	79	優勝
城戸善弘	S41	87	7	80	2位
山本信司	S37	94	14	80	3位
長瀬正春	S44	99	18	81	
葉室新人	S41	87	5	82	
吉村貞男	ゲスト	108	25	83	
永翁正臣	S41	100	16	84	ドラコン
久芳健二	S44	106	20	86	
安徳信義	S44	105	17	88	
河野旺生	S36	104	14	90	
松山 仁	S44	115	20	95	ニアピン
平間正昭	S37	122	24	98	
島村裕司	H12	138	28	110	

熱戦が続く囲碁の会 — 平間初段連覇？

第5次リーグ戦4月に終了

昨年12月例会から始まった第5次リーグ戦は、いよいよ終盤となり、4月例会で決着がつく見込み。これまでの戦績は下記の通り。

銭谷2段	6勝3敗	7-3
平間初段	7勝2敗	8-2
山本2級	4勝5敗	
名越5級	6勝3敗	7-3
前原6級	1勝5敗	1-8
安徳9級	1勝9敗	1-9

第3回囲碁交流会開催

関西支部囲碁同好会 対 兵庫支部囲碁の会

昨年2月に発足した関西支部囲碁同好会と兵庫支部囲碁の会の交流試合が3回目を迎え、前回と同じ会場囲碁サロン「刻（とき）」にて4月10日（土）午後1時から開催される。囲碁の会から会長銭谷2段をはじめ平間初段、山本2級、名越6級および河野6級が参加予定。諸氏の健闘を祈ります。

なお、今回も前回同様に囲碁同好会のお世話により交流試合終了後、懇親会を開催する予定。

歩こう会3月例会一発足3周年記念

明石市内散策一文学遺跡を訪ねてなぎさ海道を歩く

平成13年3月10日第1回の歩こう会で前日雪が残る六甲山をが原から摩耶山へと歩いてから3年を経過。その後、回を重ね今で29回目。今回は明石市内の名所旧跡を訪ね歩く7kmのコースである。好天に恵まれ久しぶりの気持ちのいい汗を掻きながらのウォーキングであった。

午前10時JR明石駅にゲストを含め総勢17名が集合し、下見2という高尾サブリーダーの先導で出発。

参加者は、高尾、伊藤、河野、安德、前原、二宮、長岡夫妻、吉松山、名越、ゲストの謝、野村、小谷、万波夫妻。



まずはJR線沿いに東へと、第一目的地の明石天文科学館へ向う。

同館へは柿本神社の参道を経由するのだが、その参道入口には播磨3名水の一つと云われる「亀の水」があり、土地の人が水汲みにやっていた。

鳥居をくぐると満開の梅が出迎えてくれる。小高い丘を暫く登ると日本標準時間の基準となる東経135度線上にあり明石のシンボルである天文科学館に到着。ここでストレッチ体操後、柿本人麻呂を祀る柿本神社へ向い、本日のウォーキングの無事を祈願。

同境内には一つの花に7〜8個の実になるという「八房の梅」が満開。

また人麻呂や芭蕉の句碑もいくつか散見せられる。

次は宮本武蔵作という庭園のある本松寺を訪れた。入口は閉鎖されていたが、住職に特に依頼して入園させて貰った。

明石城主小笠原家客分となっていた武蔵が作庭といわれる枯式枯山水庭園であり、旧明石藩下に4ヵ所あるとの事。



最近新しく発掘と報道された雲晴寺の武蔵作庭園の遺構と言われる発掘現場に安德氏の案内で予定コースを外れて特別訪問するも、ビニールが被せられており、雰囲気のみ味わう。

天和2年(1682)建立といわれる祠のような明石神社では明

城内で時を知らせていたという「とき打ち太鼓」を見て、明石市立博物館で休憩。ここからは明石公園は間近である。

明石公園内を散策しながら昼食地を物色。剛の池畔で昼食をすることとし、弁当を持参していない6人は、安德氏の案内で、明石名物明石焼き(別名玉子焼き)賞味のため別行動となる。



昼食後は明石川沿いに南下して源氏物語の舞台として数々の伝承が残る明港付近まで春の陽光を一杯に浴びながら30分歩き続ける。

光源氏が明石の上を訪ねて通った「魚の細道」を通り、光源氏が月見を楽しんだという無量光寺を訪れた後、明石の上の父、明石入道の住む「浜辺の館」跡といわれる善楽寺を訪れた。



同寺には、明石入道石碑の夕光源氏古址明石乃浦乃濱乃松や平清盛供養塔、牧場の朝歌碑などもある。

ここから明石港方面へゆく途中、岩屋神社を参拝して、1657年に明石藩主松平忠国によって造られた近畿では4番目の灯台といわれる「築港の灯台」へ足をのぼす。

ここまで来れば本日のコースもほぼ終わり。一休みの後、最後の目的地「魚の棚」へと向う。途中明石焼きのために別行動をとった松山・佐藤両氏がフェリー乗り場付近まで迎えに来て合流。

「魚の棚」は日曜日の為か随分と込み合っており、シーズン最盛期のイカナゴの「くぎ煮」が店頭に並んでいる。酒の肴にと金揚げたものを一箱買って帰る。「魚の棚」入口で解散。お疲れさん。

六甲全山縦走を目指して

一第2回分割縦走一

鶴越駅→鳥原貯水池→菊水山(459m)→天王吊橋(253m)→鍋蓋山(486m)→再度公園(昼食)→市ヶ原→布引の滝→新神戸(11km)

午前9時半鶴越駅に集合。藤田氏所用の為今回は高尾・安德・名越の3名で参加。今回も300人以上の参加者で遠くは横浜・埼玉辺りからの参加者もあり。「歩こう会」のバーバキュウ会場の鳥原貯水池上部辺りまでは平坦な道なれど、菊水山への登山道は急勾配の階段が続き、高尾・名越は休み休み登る。山頂近くでは菊水CCゴルフ場が展望でき、その向うに新長田付近であろう市街が霞んで見える。菊水山頂に11時前に到着。出発して約1時間かかった事になる。今回も安德氏は先頭グループと共に歩き、昼地の再度公園までは離れ離れとなる。

有馬街道を跨ぐ天王吊橋を渡り、再び鍋蓋山への登山に挑む。石ころの多い山道を、菊水山よりは勾配は少ないが、あえぎあえぎ登り、菊水山頂から約1時間かかって山頂に到着。ここからは新神戸港が展望できるが春霞でぼやけている。ここからは殆んど下りの道で昼食地の再度公園を目指してひと踏ん張り。12時半やっと山頂にありつく。

ここで安德氏と合流し、午後1時出発し、これまで歩こう会で何度か歩いたコースであり、天竜寺から市ヶ原を経由し、布引貯水池・布引の滝と一気に駆け下りて午後2時過ぎには新神戸に到着し、

第1回よりは距離も短いのに、下り坂で元気を出し過ぎたのか、意外に足が疲れ、翌日まで腿の筋肉痛が残る。縦走挑戦に不安を感じたが、次回は1ヵ月後だ。また挑戦するぞ!

歩こう会4月例会一森林植物園で花見会一

植物園の桜花は丁度見ごろの由(9日問い合わせ)

4月11日(日)午前9時半新神戸駅1階集合

往路: 布引の滝→市ヶ原→トエンティクロス→森林植物園

帰路: 現地解散、各自自由行動。市バス三宮まで530円

弁当・飲み物は各自でご持参下さい

参加申込: 歩こう会会長二宮慶治郎

Tel & Fax: 078-851-1875

E-mail: ninom406@skyblue.ocn.ne.jp

兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時〜8時

すなっく

フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1

タイシンサンセットビル6F

電話078-392-2466

お気軽においで下さい

